

2025年6月19日
茨城県政策企画部地域振興課

茨城県立カシマサッカースタジアムネーミングライツ契約の締結について

茨城県は、株式会社メルカリ（以下、メルカリ）、株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー（以下、鹿島アントラーズ）と茨城県立カシマサッカースタジアムネーミングライツ契約（以下、本契約）に合意し、2025年7月1日以降の同スタジアムの新愛称を「メルカリスタジアム」（略称：「メルスタ」）に決定しましたので、お知らせいたします。

茨城県では、資産の有効活用による歳入確保を図るため、ネーミングライツを積極的に導入しております。スタジアムについては、鹿島アントラーズと共同での募集を経て、メルカリと本契約を締結することとなりました。

スタジアムは、建設から30年以上が経過しており、施設の老朽化や物価高などによる維持修繕費の増大が課題となっております。今回のネーミングライツによる歳入を有効活用し、安心して利用・応援できるような環境整備に努めてまいります。

【本契約の概要】

愛 称 「メルカリスタジアム」（略称「メルスタ」、英語表記「Mercari Stadium」）
契約期間 3年間（2025年7月1日～2028年6月30日）
契約金額 1.5億円/年

【株式会社メルカリの概要】

会 社 名 株式会社メルカリ
所 在 地 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
事業内容 スマートフォン向けフリマアプリ「メルカリ」の企画・開発・運営
代表者名 山田 進太郎

【関係者のコメント】

●大井川知事

「メルカリ、鹿島アントラーズとスタジアムのネーミングライツ契約合意に至ったことを大変喜ばしく思います。県としては、ネーミングライツ収入をスタジアムの維持管理費用に充てることにより、県民・サポーターが安心して利用・応援できるような環境整備に活用していくほか、ネーミングライツの広告効果や、メルカリグループのスタジアム運営や地域社会へのコミットにより、本県にさらなる経済効果をもたらすことを期待しています。」

●株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー 代表取締役社長 小泉文明

「鹿島アントラーズがJリーグの舞台に立てたのは、カシマサッカースタジアムの建設という、まさに奇跡的な出来事があったからです。このスタジアムと共に、アントラーズは20個のタイトルを獲得し、その歴史に足跡を刻んできました。今後もクラブの伝統を守りつつも、更なる変革が必要であると考えています。テクノロジーを活かした観戦環境における安心・安全性と利便性の追求を目指し、クラブに関わる全てのステークホルダーの方々や、今回ネーミングライツを取得するメルカリ社とも協力しながら、このスタジアムが地域にとって誇りであり続け、持続的に発展していくことに貢献していきたいと思っております。」

●株式会社メルカリ 執行役 SVP of Japan Region 山本真人

「この度、茨城県および鹿島アントラーズとスタジアムのネーミングライツの契約に合意したことを大変光栄に思っております。メルカリは、Jリーグ開幕時から数々の歴史を創り上げてきたこのスタジアムに受け継がれる熱量や伝統に大きなリスペクトを抱いています。こうした伝統を受け継ぎながら、『あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる』というミッションを掲げるメルカリならではのエッセンスを加え、鹿島アントラーズはもちろん、地域社会にも今まで以上に貢献できるよう、邁進してまいります。」



【本件に関するお問い合わせ先】

茨城県政策企画部地域振興課 関、白土

TEL : 029-301-2730

Email : chikei3@pref.ibaraki.lg.jp

カシマサッカースタジアムの概要

名 称：茨城県立カシマサッカースタジアム

所 在 地：茨城県鹿嶋市神向寺後山26-2

竣 工：（当初）平成 5年3月26日 （増築）平成13年5月15日

施設概要：敷地面積10.7 ha、鉄筋コンクリート・鉄骨造 6 階建
（延床面積：85,019㎡）

収容人数：40,003人

管理手法：指定管理者 （株）鹿島アントラーズ F C

指定管理期間 R4. 4. 1～R14. 3. 31（10年間）

※H18年度より同社が指定管理を受託（更新 3 回）

利用者数の推移

年度	R2	R3	R4	R5	R6
総利用者数※	246,203人	317,198人	454,913人	548,167人	579,789人
うちプロサッカー	139,273人	201,023人	316,958人	393,630人	431,840人

※ウェルネスプラザなど指定管理者の自主事業による利用者数含む

近年の大規模修繕

年度	実績額 (千円)	主な修繕内容
H27	213,081	屋根鉄骨修繕、グラウンド照明設備更新
H28	860,617	屋根鉄骨修繕、大型映像装置
H29	1,175,107	屋根鉄骨修繕、外部鉄骨階段、芝生改修
H30	1,002,378	屋根鉄骨修繕、外部鉄骨階段、PC段床補修、トイレ改修
R1	1,768,143	屋根鉄骨修繕、外部鉄骨階段、記者席更新、トイレ改修、放送設備更新、非常放送設備更新、屋根高圧洗浄、監視カメラシステム更新
R2	508,475	タイロッド工事、防雪板撤去、照明制御工事、空調機更新、貴来賓室改修、バックスタンド空調、1階フェンス等修繕、サブグラウンド照明設備
R3	526,949	屋根鉄骨修繕、タイロッド工事、衛生消火配管修繕、外部鉄骨階段、照明設備更新
R4	633,435	屋根鉄骨修繕、観客席・照明設備、3階4階コンコースコンクリート
R5	434,963	屋根鉄骨修繕、照明設備、衛生消火配管、中央監視装置、外部鉄骨階段、
R6	333,556	屋根鉄骨修繕、太陽光パワーコンディショナ、6ゲート屋根設置

- スタジアム建設から30年以上が経過し、近年、施設の老朽化が課題となっており屋根鉄骨などの修繕に多額の費用を要している。
- 今後も、物価高などによる維持修繕費の高騰が見込まれるため、今回のネーミングライツ契約による収入を有効活用するとともに、修繕費用の平準化も考慮しながら、県負担の軽減に努めていく。